夏季特集

上半期流通総まとめ ①

自然食品店の売れ筋商品

1位「梅肉エキス」
2位「ブラックジンガー」
3位「減肥くわ青汁」

大きいテレビ効果

最近の健康食品の売れ行きはテレビ効果に大きく左右される。自然食品店における健康食品の売れ筋にも、それは色濃く反映された。トップの「梅肉エキス」のテレビ効果はいうに及ばず、3位の「減肥くわ青汁」はテレビで取り上げられてから動き始めたという店舗も多く、効果てきめんといったところ。2位「ブラックジンガー」の広告効果は広く知られている。長期にわたり固定客をつかむ大麦若葉エキスの「バーリィグリーン」は、昨今の青汁ブームに乗り常用者を増やしている。一方で「プロポリス」「ハトムギ酵素」はテレビに取り上げられなくても、売れている。

自然食品店の健康食品の品ぞろえはさまざまだ。自然食品が中心だからと健康食品は数十点に絞り込んでいるところ、反対に健康食品を幅広く取り扱っている店がある。今回の売れ筋には登場しなかったが、ダイエットで人気の高い「BOWS」を販売する店もある。

今回は売れ筋商品として63アイテムが挙げられた。トップは「梅肉エキス」、次いで「ブラックジンガー」、そして「減肥くわ青汁」と続く。これらが今年上半期の、自然食品店における3大売れ筋商品となった。

「梅肉エキス」は今年もテレビで取り上げられ、これまでの常用者に新規客が加わり、利用者が増えたという店舗が多かった。価格的にもお手頃感があり、リピート率は高い。

「血液の循環が良くなるのでしょう。ちょっと前の季節には、『冷え性が良くなった』という声をよく聞いたものです。お腹の痛い時に用いるという人もいて、飲み続けられています」と、こうじゃ源平（東京都渋谷区）。同店の売れ筋トップ商品になっていて、そのコアユーザーは40～70代の女性たちだ。

グルッペ荻窪店（東京都杉並区）では1位「梅肉エキス」は胃腸にいいから、2位「梅肉エキス粒」は主に腹痛・下痢用に購入されているという。

はじめ健康食品店（東京都武蔵野市）でも1位「梅肉エキス」、2位「梅丹梅肉エキス粒」が挙げられた。「ブラックジンガー」はファミリータイプの方が動いた。手軽に飲めて、お通じが良くなる。これが最大のワリになっている。

「ブラックジンガー」は新聞やテレビなどの広告が効を奏している。

根強い人気の「プロポリス」「ハトムギ酵素」

「減肥くわ青汁」もテレビでダイエットにいいと取り上げられてから、売れるようになった。「それまでは本当に売れなかったんですよ」という店舗は多い。現在は放映直後の勢いは消えたが、安定的に売れるようになったという。

しかし、あいりん美千葉県成田市）では、昨年から良く売れているという。抗糖尿ということでトヨタマ健康食品の「桑の葉茶」をすすめているが、その説明で「くわがダイエットにもいいと知った30代の主婦が自分だけでなくご主人にも飲ませるなど、「くわ青汁」の効用が口コミで広がり、常用者が増加している。

たんぽぽ堂（東京都豊島区）のトップも「減肥くわ青汁」だった。

これら3商品はテレビなどによる知名度アップのほかに、買いやすい価格帯にあることも人気の要因になっている。いずれも1000円以下の価格設定だ。

長い常用者のついている「バーリィグリーン」は大麦若葉が原料だが、青汁効果で動きが活発化、4位にランクインした。

4位にはほかに「プロポリス」「ハトムギ酵素」が名を連ねる。これらも長い人気を誇っている。

もろみ酢がテレビ効果をいまだに引きずっていて、注文通りに入荷しないという声を聞く。今回は「琉球もろみ酢」「玄米酢」が同点で並んだ。

「玄米酢」は自然食品の店サンピュア（東京都江戸川区）で1位に挙げられた。

「ローヤルゼリー」「ルティン」「ビタオニオン」「田七人参」「グルコサミン」も同列に並んだ。

ニュー健康食品谷塚（埼玉県草加市）のトップは「ローヤルゼリースーパーゴールド750」だった。

すこやか広場（横浜市戸塚区）は、「さらさらきれい茶」をひと月平均150個売り上げている。

売れ筋上位商品

① 梅肉エキス
② ブラックジンガー
③ 減肥くわ青汁
④ バーリィグリーン
プロポリス
ハトムギ酵素